

ガザでのジェノサイドを許すな

攻撃中止と即時停戦に向けて各国政府に要請



日本共産党の志位委員長は6日、国会内で記者会見し、声明「ガザでのジェノサイドを許すな—ガザ攻撃中止と即時停戦に向けての各国政府への要請」を発表しました。日本共産党は、要請文を各国政府（大使館）と国連・地域機関に送付しました。



国際法違反 世論で止めよう

各地の街頭で「日本政府がイスラエルの蛮行を国際法違反と批判せず、人道的休戦を求める国連決議に『棄権』し、あまりに無責任。国際社会にも行動を呼びかけます。」と訴え。



豊田民報

日本共産党豊田市委員会
豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行



豊田市のキャラバン隊の要請行動

県内のすべての自治体を訪問し、医療・介護・福祉など社会保障の拡充と、国や県に意見書の提出を求めて要請する2023自治体キャラバン（愛知自治体キャラバン実行委員会主催）が、10月17日豊田市で要請と懇談を行いました。今年で44回目を迎えます。（事務局は豊田みよし社保協）根本みはる市議も参加しました。

2023愛知自治体キャラバンが豊田市へ

給食費無料化・補聴器補助 介護・子育て支援などの前進を

事前の文書回答が無いのは豊田市のみの懸念の際に、実行委員会から文書での回答を毎年、要請していますが、事前の文書回答が無い豊田市は、県内で唯一の自治体となりました。

要請には、豊田年金者組合、新婦人、民商、住みよい豊田を創る会、国保制度の改善を求める連絡会などの市民団体から参加。新婦人からは子どもの給食費の無償化について要望され、市の回答では、就学

援助制度の活用で負担軽減されているという認識でした。県内自治体では、無償化が進んでいる中で、従来通りの回答となりました。



1年間で県内自治体の制度が前進

この1年間で前進した県内の主な制度は次の通りです。

【加齢性補聴器の購入補助制度】大府市、知多市、あま市、豊明市

【障がい者控除認定書の自動送付】田原市、清須市、大治町、美浜町（22年12月実施）

【保育園給食の無償化・補助】第2子以降減免、みよし市

【子どものインフルエンザ予防接種】名古屋市・みよし市

【带状疱疹予防接種】豊田市、豊橋市、岡崎市、春日井市、など27市町村。

引き続き、社会保障制度の改善の運動が必要です。

南部地域の医療・交通空白の対策を

高岡後援会で根本みはる市議が報告

秋晴れの10月27日、若林交流館で、日本共産党高岡後援会が根本みはる市議の市政報告会を開催しました。

会場いっぱい参加者で、久しぶりの報告会となり、にぎやかに懇談しました。

根本市議から、イスラエルによるガザ侵略、攻撃で多くの子どもが奪われており、政府が憲法9条を持つ国として、即時停戦を求めるべきと指摘。岸田政権による国民生活無視、軍拡推進の政治から、暮らし、福祉優先の政治に変えることを訴えました。また、市長がすすめる水道料金の値上げを止めさ

せ、減免することや、学校給食費無料化の運動について、報告。

会場の参加者から、長年の地域医療と病院の問題に取り組んだ運動、南部地域の救急医療体制不足や交通空白の問題についての発言が紹介されました。



ガザでのジェノサイドを許すな スタンディング

19日 行動

11月19日(日) 午後1時～

場所:豊田市駅東側デッキ

主催:9条改憲 NO!豊田市民アクション

ペDESTリアンデッキDブロック改修工事のため、長期間、西デッキは使えませんが、行動は続けます。



金曜 行動

さよなら原発市民行動

11月24日(金) 午後6時 市駅マック前集合

ペDESTリアンデッキ改修工事で勤め、学校帰りの皆さんが市駅改札から1階に降り、マックの前の交差点を渡って、新豊田駅に向かいます。夕方は、信号待ちで大変混雑します。自転車の通行とも交差するため、市の安全対策が必要です。

◆法律相談は弁護士が
第2土曜日

午前10時～12時

◆生活相談は随時、根本議員が対応

◆法律相談は要予約。お申し込みは

日本共産党西三地区委員会まで

電話 0564-23-2785

◆生活相談は根本議員まで

電話 0565-34-4772

無料

法律・生活相談 おこなっています



根本みはる
豊田市議員



党愛知県副委員長
すやま初美



衆議院議員
もとむら伸子